

令和8年度

授業計画書

学科・学年	理学療法学科 3年	科目名	総合医学講座 I	授業時期	後期	授業時数	60
実務経験		担当者	安岡武紀・山本裕晃・大久保謙太郎 桑原佑典・江島智子・西山栄一	授業方法	講義	単位数	2
到達目標	1. 解剖学・生理学・病理学の国家試験問題を解説できる。 2. 運動学の国家試験問題を解説できる。 3. 人間発達・小児科学の国家試験問題を解説できる。 4. 内科学・臨床神経医学の国家試験問題を解説できる。 5. 臨床心理学・精神医学の国家試験問題を解説できる。 6. 整形外科学・リハビリテーション概論の国家試験問題を解説できる。			評価方法			
授業概要	国家試験の共通問題の各分野を解答・解説する。グループ学習を基本とし、定期的に担当教員が関わり指導する。最終的には共通分野の国家試験問題相当を60%以上を目標とする。			卒業試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	QB 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2025 共通問題	使用器材	リハドリル				
週	授業項目・内容						実施結果
第1週	解剖学、生理学、病理学、運動学						
第2週	解剖学、生理学、病理学、運動学						
第3週	人間発達学、小児科学、内科学						
第4週	臨床神経医学、臨床心理学、整形外科学、リハビリテーション概論						
第5週	国家試験模擬試験1、模擬試験解答・解説						
第6週	解剖学、生理学、病理学、運動学						
第7週	人間発達学、小児科学、内科学						
第8週	臨床神経医学、臨床心理学、整形外科学、リハビリテーション概論						
第9週	国家試験模擬試験2、模擬試験解答・解説						
第10週	解剖学、生理学、病理学、運動学						
第11週	人間発達学、小児科学、内科学						
第12週	臨床神経医学、臨床心理学、整形外科学、リハビリテーション概論						
第13週	国家試験模擬試験3、模擬試験解答・解説						
第14週	解剖学、生理学、病理学、運動学						
第15週	人間発達学、小児科学、内科学、臨床神経医学、臨床心理学、整形外科学、リハビリテーション概論						
授業外学習指示等	教科書(QB共通・専門)とリハドリルを活用し暗記・理解すること。						

令和8年度

授 業 計 画 書

学科・学年	理学療法学科 3年	科目名	総合医学講座Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	60
実務経験		担当者	安岡武紀・山本裕晃・大久保謙太郎 桑原佑典・江島智子・西山栄一	授業方法	講義	単位数	2
到達目標	1、生体力学、運動療法学、物理療法学の国家試験問題を解説できる。 2、理学療法評価法の国家試験問題を解説できる。 3、内科疾患、小児科学、整形外科の国家試験問題を解説できる。 4、脳血管障害、神経・筋疾患、脊髄損傷の国家試験問題を解説できる。 5、補装具療法、ADL、理学療法概論の国家試験問題を解説できる。			評価方法			
授業概要	国家試験の専門問題の各分野を解答・解説する。グループ学習を基本とし、定期的に担当教員が関わり指導する。最終的には共通分野の国家試験問題相当を60%以上を目標とする。			卒業試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	QB 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2025 専門問題	使用器材	リハビリル				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法						
第2週	内科疾患、小児科学、整形外科						
第3週	脳血管障害、神経・筋障害						
第4週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第5週	国家試験模擬試験1、模擬試験解答・解説						
第6週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第7週	脳血管障害、神経・筋障害						
第8週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第9週	国家試験模擬試験2、模擬試験解答・解説						
第10週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第11週	脳血管障害、神経・筋障害						
第12週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第13週	国家試験模擬試験3、模擬試験解答・解説						
第14週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第15週	脳血管障害、神経・筋障害、脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
授業外 学習指示等	教科書(QB共通・専門)とリハビリルを活用し暗記・理解すること。						

令和8年度

授 業 計 画 書

学科・学年	理学療法学科 3年	科目名	総合医学講座Ⅲ	授業時期	後期	授業時数	60
実務経験		担当者	安岡武紀・山本裕晃・大久保謙太郎 桑原佑典・江島智子・西山栄一	授業方法	講義	単位数	2
到達目標	1、生体力学、運動療法学、物理療法学の国家試験問題を解説できる。 2、理学療法評価法の国家試験問題を解説できる。 3、内科疾患、小児科学、整形外科の国家試験問題を解説できる。 4、脳血管障害、神経・筋疾患、脊髄損傷の国家試験問題を解説できる。 5、補装具療法、ADL、理学療法概論の国家試験問題を解説できる。			評価方法			
授業概要	国家試験の専門問題の各分野を解答・解説する。グループ学習を基本とし、定期的に担当教員が関わり指導する。最終的には共通分野の国家試験問題相当を60%以上を目標とする。			卒業試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	QB 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2025 専門問題	使用器材	リハビリル				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法						
第2週	内科疾患、小児科学、整形外科						
第3週	脳血管障害、神経・筋障害						
第4週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第5週	国家試験模擬試験1、模擬試験解答・解説						
第6週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第7週	脳血管障害、神経・筋障害						
第8週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第9週	国家試験模擬試験2、模擬試験解答・解説						
第10週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第11週	脳血管障害、神経・筋障害						
第12週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第13週	国家試験模擬試験3、模擬試験解答・解説						
第14週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第15週	脳血管障害、神経・筋障害、脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
授業外 学習指示等	教科書(QB共通・専門)とリハビリルを活用し暗記・理解すること。						

令和8年度

授業計画書

学科・学年	理学療法学科 3年	科目名	理学療法演習Ⅱ	授業時期	後期	授業時数	60
実務経験		担当者	安岡武紀・山本裕晃・大久保謙太郎 桑原佑典・江島智子・西山栄一	授業方法	演習	単位数	2
到達目標	1、生体力学、運動療法学、物理療法学の国家試験問題を解説できる。 2、理学療法評価法の国家試験問題を解説できる。 3、内科疾患、小児科学、整形外科の国家試験問題を解説できる。 4、脳血管障害、神経・筋疾患、脊髄損傷の国家試験問題を解説できる。 5、補装具療法、ADL、理学療法概論の国家試験問題を解説できる。			評価方法	卒業試験 100% (100点換算で60点以上で合格)		
授業概要	国家試験の専門問題の各分野を解答・解説する。グループ学習を基本とし、定期的に担当教員が関わり指導する。最終的には共通分野の国家試験問題相当を60%以上を目標とする。						
教科書等	QB 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2025 専門問題	使用器材	リハビリル				
週	授業項目・内容					実施結果	
第1週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法						
第2週	内科疾患、小児科学、整形外科						
第3週	脳血管障害、神経・筋障害						
第4週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第5週	国家試験模擬試験1、模擬試験解答・解説						
第6週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第7週	脳血管障害、神経・筋障害						
第8週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第9週	国家試験模擬試験2、模擬試験解答・解説						
第10週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第11週	脳血管障害、神経・筋障害						
第12週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第13週	国家試験模擬試験3、模擬試験解答・解説						
第14週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第15週	脳血管障害、神経・筋障害、脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
授業外 学習指示等	教科書(QB共通・専門)とリハビリルを活用し暗記・理解すること。						

令和8年度

授 業 計 画 書

学科・学年	理学療法学科 3年	科目名	理学療法演習Ⅲ	授業時期	後期	授業時数	60
実務経験		担当者	安岡武紀・山本裕晃・大久保謙太郎 桑原佑典・江島智子・西山栄一	授業方法	演習	単位数	2
到達目標	1、生体力学、運動療法学、物理療法学の国家試験問題を解説できる。 2、理学療法評価法の国家試験問題を解説できる。 3、内科疾患、小児科学、整形外科の国家試験問題を解説できる。 4、脳血管障害、神経・筋疾患、脊髄損傷の国家試験問題を解説できる。 5、補装具療法、ADL、理学療法概論の国家試験問題を解説できる。			評価方法			
授業概要	国家試験の専門問題の各分野を解答・解説する。グループ学習を基本とし、定期的に担当教員が関わり指導する。最終的には共通分野の国家試験問題相当を60%以上を目標とする。			卒業試験 100% (100点換算で60点以上で合格)			
教科書等	QB 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2025 専門問題	使用器材	リハビリル				
週	授 業 項 目 ・ 内 容						実施結果
第1週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法						
第2週	内科疾患、小児科学、整形外科						
第3週	脳血管障害、神経・筋障害						
第4週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第5週	国家試験模擬試験1、模擬試験解答・解説						
第6週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第7週	脳血管障害、神経・筋障害						
第8週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第9週	国家試験模擬試験2、模擬試験解答・解説						
第10週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第11週	脳血管障害、神経・筋障害						
第12週	脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
第13週	国家試験模擬試験3、模擬試験解答・解説						
第14週	生体力学、運動療法、物理療法、理学療法評価法、内科疾患、小児科学、整形外科						
第15週	脳血管障害、神経・筋障害、脊髄損傷、補装具療法、ADL、理学療法概論						
授業外 学習指示等	教科書(QB共通・専門)とリハビリルを活用し暗記・理解すること。						